

とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センター通信
Gunma Gender Equality Center

発行／ぐんま男女共同参画センター

〒371-0026 前橋市大手町 1-13-12

☎ 027-224-2211 FAX 027-224-2214 E-mail sankakuse@pref.gunma.lg.jp

No. 59

令和2年度

「群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰 及びぐんま輝く女性表彰」表彰式開催



『群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰及びぐんま輝く女性表彰』表彰式が、男女共同参画週間に合わせて、6月29日（月）に県庁『正庁の間』において行われました。

このたびの受賞、誠にありがとうございます。

なお、表彰された方々の取組や活動内容等については、次号から順次掲載させていただきます。

受賞者のご紹介

群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰

県内において、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでおり、他の模範であると認められる個人を表彰



もぎ なおこ
茂木 直子氏

認定特定非営利活動法人 ひこばえ理事長

ぐんま輝く女性支援賞

女性のチャレンジについて積極的な支援を行っている個人・団体を表彰



一般社団法人 群馬県建設業協会

ぐんま輝く女性チャレンジ賞

政策方針決定過程への参画や地域貢献活動等、様々な分野にチャレンジし輝いている女性個人・女性団体を表彰



ばば さなえ
馬場 早苗氏

ento 株式会社代表取締役



かんべ
神戸 るみ氏

特定非営利活動法人
Annaka ひだまりマルシェ代表理事



国立大学法人 群馬大学

「男女共同参画社会に関する県民意識調査結果」について

群馬県では、令和2年度に策定予定の「第5次群馬県男女共同参画基本計画」や、今後の男女共同参画推進の企画立案の参考資料とするため、「県民意識調査」を実施しました。その調査結果について紹介します。



1 男女共同参画に関する意識について

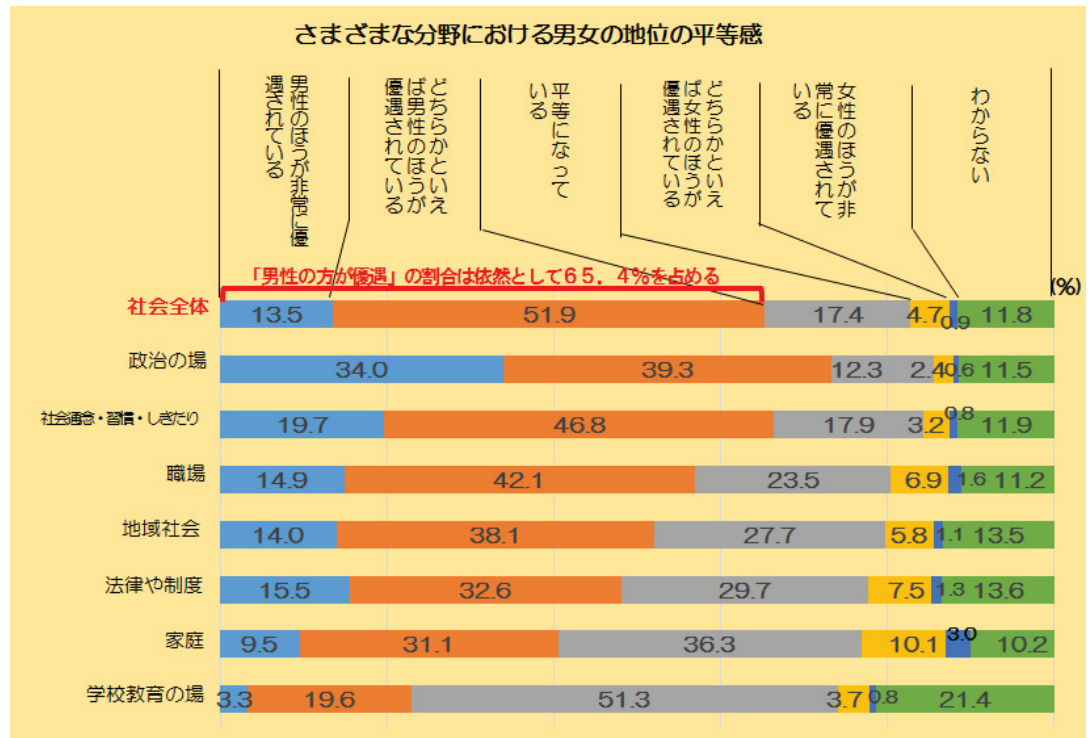
(1) 男女の地位の平等感について

「男性の方が優遇」の割合は、依然として65.4%を占める

群馬県の社会全体として見た場合、男女の地位について、「平等になっている」は、17.4%で、「男性の方が優遇」と回答した人の割合は、65.4%となった。分野別にみると、「学校教育の場」を除いたすべての分野で、「男性の方が優遇」と回答した割合が高く、特に、「政治の場」「社会通念・習慣・しきたり」「職場」で高くなっている。

◆調査設計及び回収結果◆

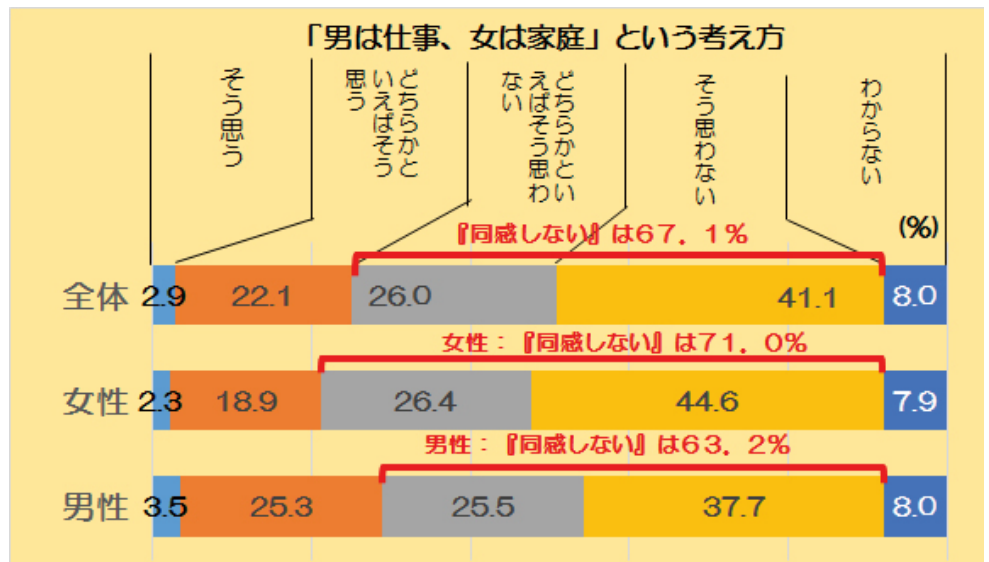
調査概要			
調査地域	群馬県全域	有効回収数	2,000人
調査対象	満18歳以上の男女個人2,000人	回収率	100%
調査方法	インターネットによる調査	調査期間	令和元年11月20日(水)～12月4日(水)



(2) 「男性は仕事、女性は家庭」という男女の性別役割分担意識について

「同感しない」割合は、7割近くとなる

性別によって役割を固定する考え方について、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の『同感しない』と回答した人の割合は全体で、67.1%で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の『同感する』の25.0%を上回っている。性別でみると、『同感しない』は女性で71.0%、男性で63.2%となっている。

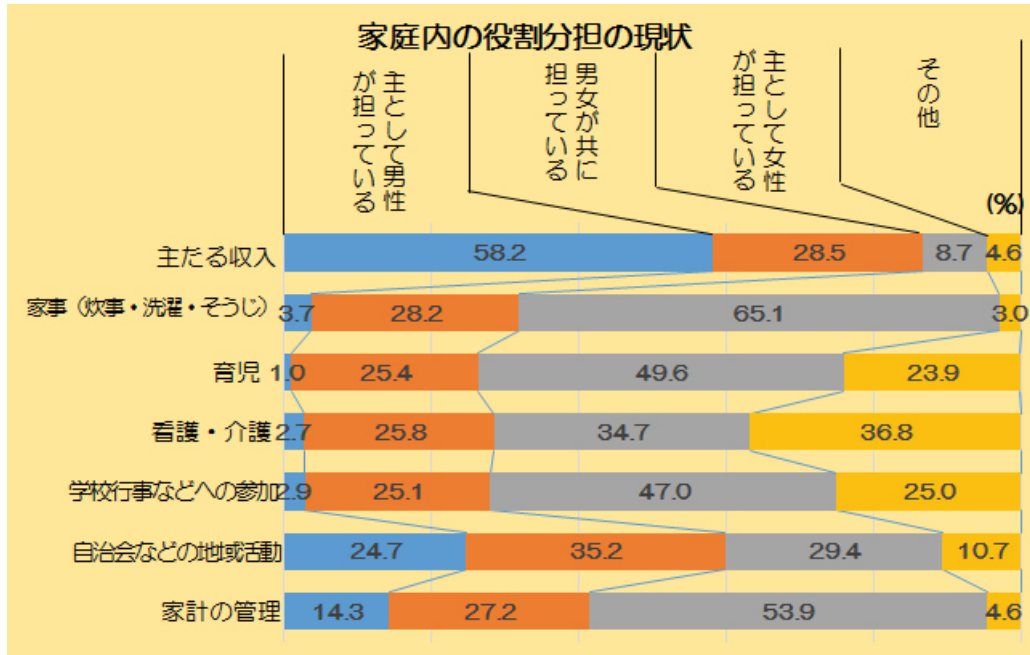


2 家庭・職場における男女平等について

(1) 家庭内での役割分担について

「主たる収入」確保は男性が役割を分担し、それ以外の役割を女性が分担

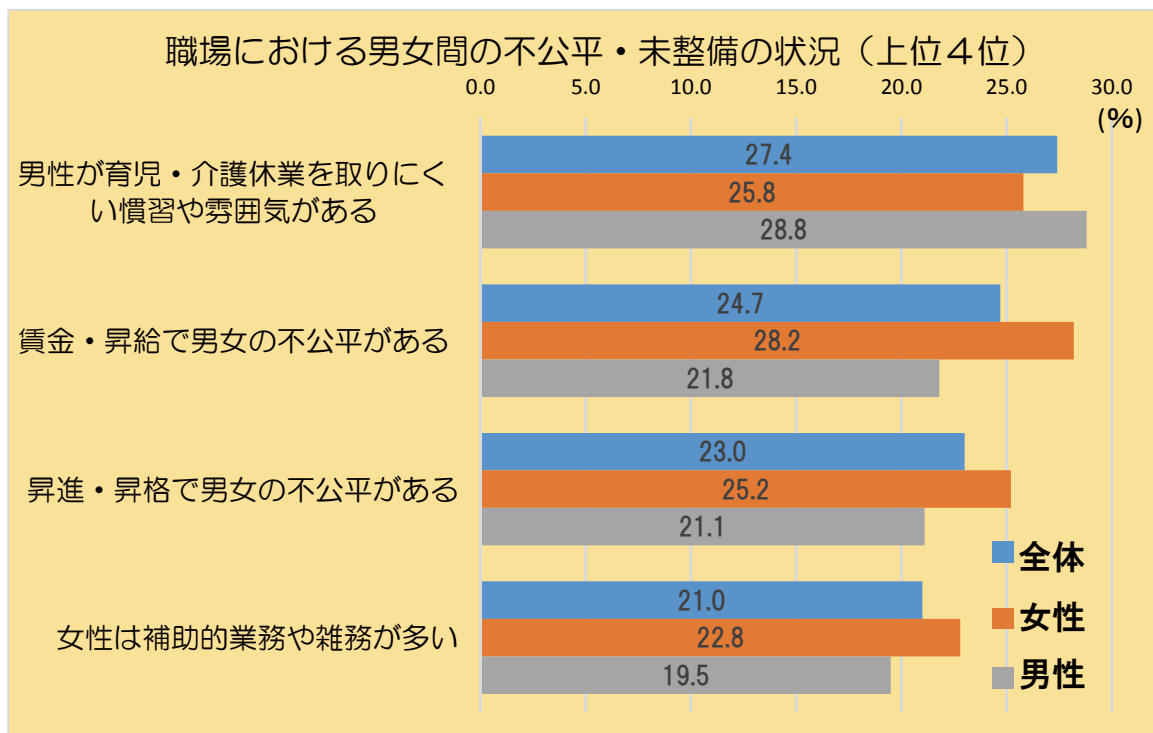
家庭内での役割分担では、「主たる収入」確保は男性が分担し、それ以外の家庭内の役割を女性が主として分担しているケースが多い。



(2) 職場における男女間の不公平・未整備の制度について

男性の「育児・介護休業」取得に対する周囲の理解や男女の賃金・待遇格差が課題

職場の男女平等に関する課題として、各項目の全体の割合は、「男性の育児・介護休業を取りにくい慣習や雰囲気がある」が27.4%、「賃金・昇給での不公平」が24.7%、「昇進・昇格での不公平」が23.0%、「女性は補助的業務や雑務が多い」が21.0%となっている。



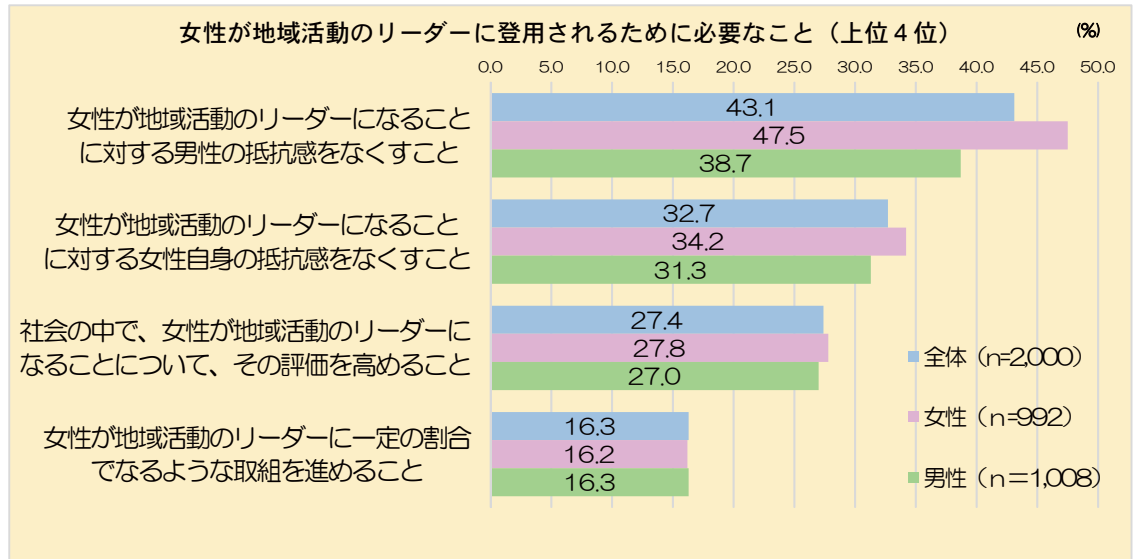
3 男女共同参画社会の実現について

(1) 女性が地域活動のリーダーに登用されるために必要なことについて

「男性の抵抗感をなくすこと」43.1% 「女性の抵抗感をなくすこと」32.7%

女性がリーダーになるために必要なことについては、「男性の抵抗感をなくすこと」の割合が男女ともに高い。

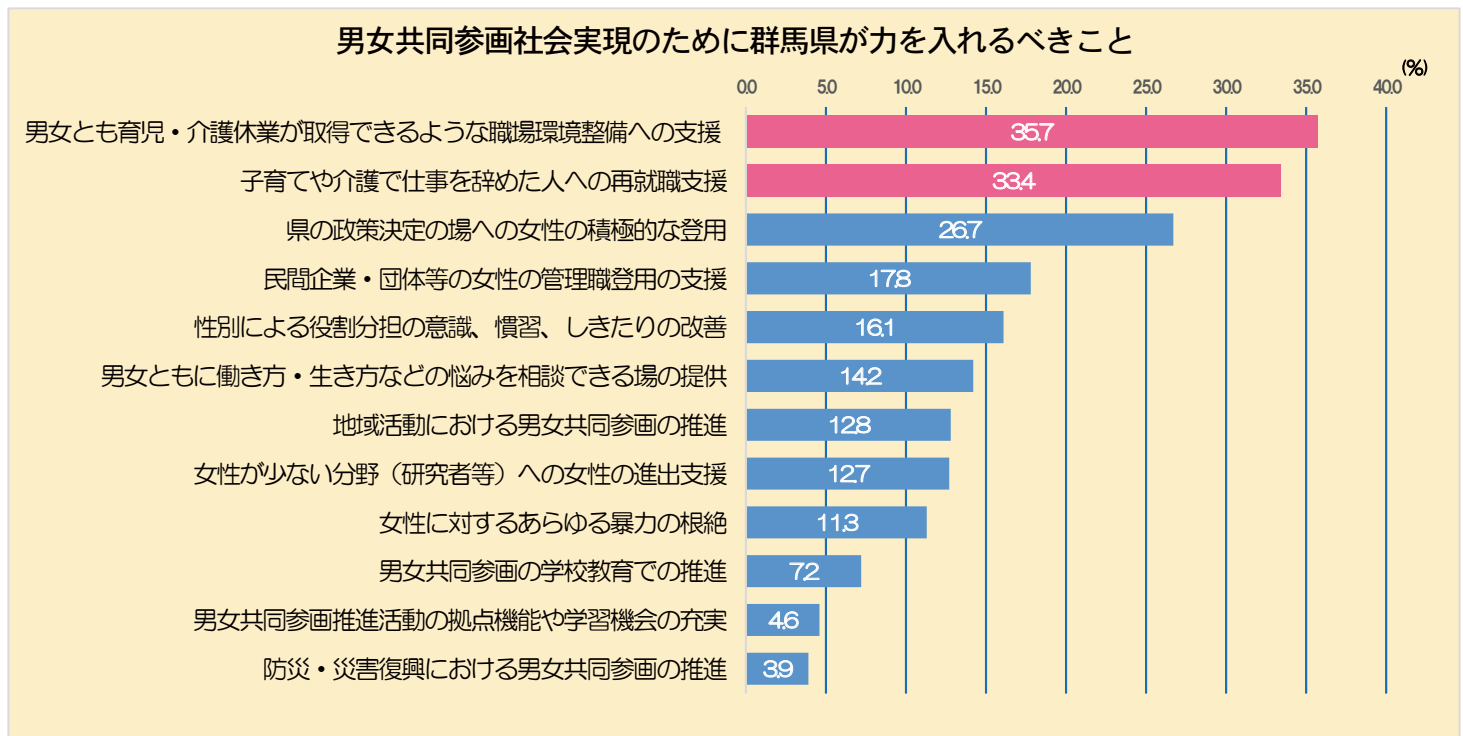
特に、女性の回答が47.5%と男性の38.7%を8.8ポイント上回っている。



(2) 男女共同参画社会実現に向けて県への要望について

「男女とも育児・介護休業が取得できる職場環境整備」35.7%と「子育てや介護で仕事を辞めた人への再就職支援」33.4%

上記2項目は、「県の政策決定の場への女性の積極的な登用」や「民間企業・団体等の女性の積極的な登用」を上回り、職場環境の整備や再就職支援といった、生活に直結した配慮を求めていることがうかがえる。



群馬県では、これらの調査結果を踏まえ、本県の男女共同参画推進に係る課題の抽出と県民ニーズの把握を行います。そして、性別にかかわらず、男女がともにその個性と能力を発揮して活躍できる社会の実現を目指して、「第5次男女共同参画基本計画」の策定を進めてまいります。

群馬県内のドメスティック・バイオレンス（DV）の状況について

今般のコロナ禍の影響で、在宅時間が長くなり、家庭内暴力（DV）被害の増加が懸念されています。そこで、群馬県のDV被害の現状を紹介します。（「令和元年度男女共同参画意識調査」より）

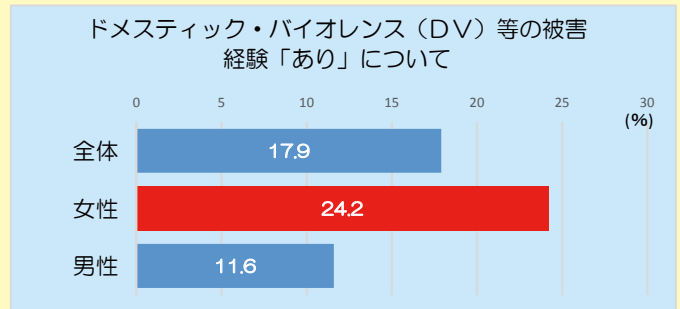
（１）被害経験について

配偶者等からの暴力経験は女性2割以上、男性も1割以上！



配偶者等からの被害経験は、女性は24.2%、男性も11.6%の被害経験があった。

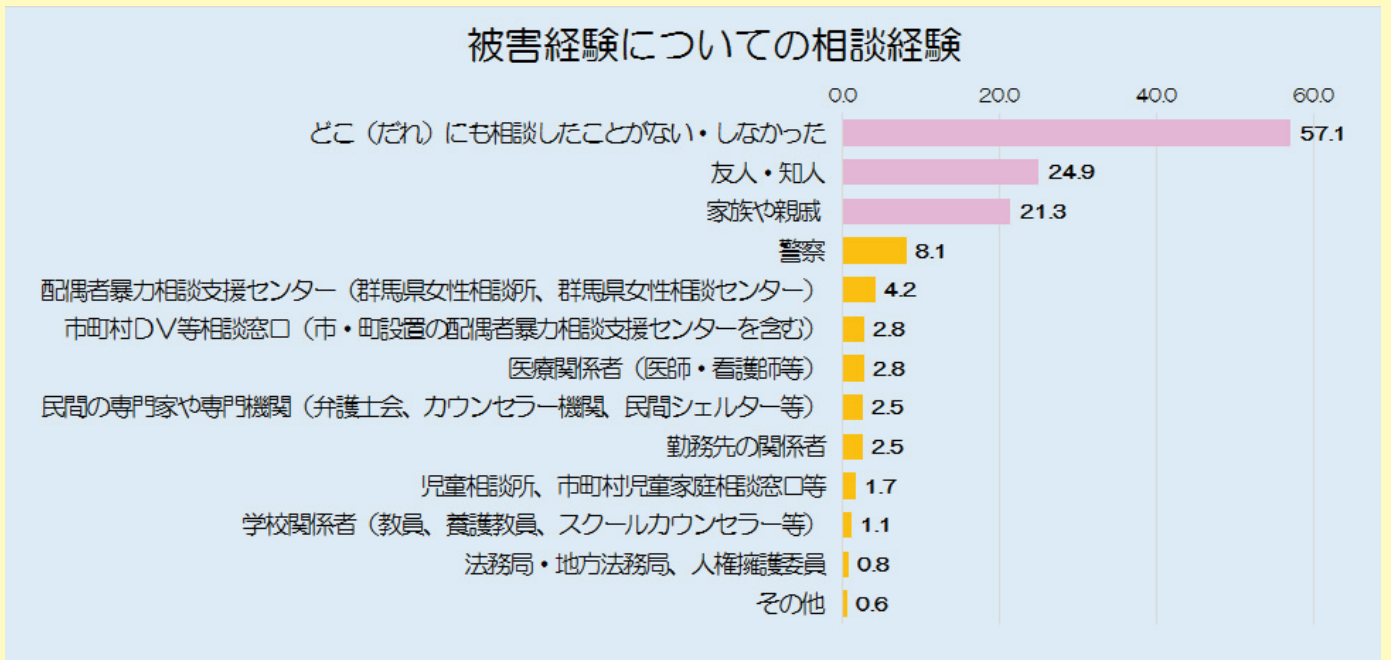
DV被害については、「殴る」、「蹴る」などの身体的な暴力だけでなく、人格を否定するような「暴言」、「どなる」、長時間の「無視」、常に行動を監視する等の「精神的・社会的な暴力」、「生活費を入れない」、「借金をさせてお金を取り上げる」などの経済的な暴力も多くなっている。



（２）被害経験の相談相手について

だれ（どこ）にも相談していないDV被害経験者は、約6割

DV被害に対して、「だれ（どこ）にも相談しなかった」と回答した人の割合は57.1%と最も高かった。主な相談先としては、「友人・知人」が24.9%、「家族や親戚」は21.3%、「警察」8.1%、「配偶者暴力相談支援センター」7.0%（県4.2%、市町村2.8%）等となっている。



DV被害は、女性の約24%以上、男性も約11%の人が経験しているととても身近な問題です。誰にも相談していない人の割合は約6割にも上り、表面化していない被害ケースも多いと思われます。今後は、DVの防止対策や相談窓口等の周知広報の取組をより一層行ってまいります。

図書のご紹介



「料理が苦痛だ」

本多理恵子
自由国民社

「ちゃんとした料理」を「作り続ける」ことに疲れてしまったすべての人に。鎌倉で人気「作らない料理教室」主宰のカフェオーナーが教える、「作り続ける料理」からの脱出法。



「実は、仕事で困ったことがあります」
寺下 薫
大和書房

若手社員が企業で直面する20の悩みを紹介しつつ、自分で解決できる手法を紹介している。会話形式で読みやすいビジネス書。



「多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ」
Jam 名越康文
マガチアリ出版

SNS・会社・友達…ここにいない誰かからココロを守る64の考え方。そっか…今ごろパフェとか食ってる…そう思ったら、嫌な気持ちが頭から消えた！現代社会の悩みを解決。

ぐんま男女共同参画センターの図書コーナーで貸出をしています。

【貸出あんない】

・ひとり5冊、2週間まで。 ※「図書利用カード」の登録が必要です。

ひとりで
悩まないで…
気軽に
ご相談を…



女性専用の
電話相談です

とらいあんぐるん相談室

☎ 027-224-5210

相談日・時間

火 水 金 日 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00

※年末年始、祝日は休み。月曜日が祝日の場合の火曜日も休み。

相談は無料 秘密は厳守します

【相談内容】性別役割分担や性別による不平等、女性の自立や能力の発揮、ワークライフバランスなど…。

◆お知らせ

※新型コロナウイルス感染予防のため、一部制限があります。

※当センターの利用については、ウェブサイトをご確認いただきますようお願いいたします。



Gender Equality は
SDGs の5つ目の目標です
(エスディージーズ)



ぐんま男女共同参画センター
Gunma Gender Equality Center

〒371-0026 群馬県前橋市大手町 1-13-12

TEL027-224-2211 FAX027-224-2214

E-Mail sankakuse@pref.gunma.lg.jp

ぐんま男女共同参画センター 🔍 検索